

# 労働力調査（基本集計）平成25年度（2013年度）平均

## 結果の概要

1. 2013年度平均の完全失業率は3.9%と、前年度に比べ0.4ポイントの低下

2. 2013年度平均の完全失業者数は256万人と、前年度に比べ24万人の減少

(主な求職理由別)	(完全失業者数)(対前年度増減数)
仕事をやめたため求職	179万人と、21万人の減少
非発的な離職	85万人と、15万人の減少
定年又は雇用契約の満了による離職	28万人と、3万人の減少
勤め先や事業の都合による離職	57万人と、12万人の減少
自発的な離職(自己都合)	94万人と、6万人の減少
新たに求職	72万人と、3万人の減少
学卒未就職	15万人と、1万人の減少
収入を得る必要が生じたから	34万人と、2万人の減少
その他	24万人と、同数

3. 2013年度平均の就業者数は6322万人と、前年度に比べ47万人の増加

(主な産業別)	(就業者数)(対前年度増減数)
医療、福祉	739万人と、18万人の増加
卸売業、小売業	1060万人と、14万人の増加
宿泊業、飲食サービス業	384万人と、4万人の増加
サービス業(他に分類されないもの)	402万人と、3万人の増加
製造業	1042万人と、4万人の減少
建設業	498万人と、9万人の減少

注)労働者派遣事業所の派遣社員について、2012年12月分結果以前は派遣事業所の産業について分類しており、派遣先の産業にかかわらず派遣元の産業である「サービス業(他に分類されないもの)」に分類していたが、2013年1月分結果から派遣先の各産業に分類している。このため、ここに掲載した産業別就業者の対前年度増減については、比較可能な数値となるよう、2013年1月以降の結果については派遣元に補正した数値を用いて実数を算出した。補正の具体的な方法については、「労働力調査の結果を見る際のポイントNo.17」を参照されたい。

URL <http://www.stat.go.jp/data/roudou/pdf/point17.pdf>